

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	スポーツ教室等の開催				継続				
コード	27	-	23	-	01	-	01	予算事業名	スポーツ教室・大会等の充実
担当部署	文化スポーツ部	スポーツ振興課	スポーツ健康担当	予算事業コード	会計 10	款 02	項 01	目 19	

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	2章 学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	根拠となる法令、条例等	なし
方向性(節)	5節 生涯スポーツの推進	個別計画等の名称	第二次川越市生涯スポーツ振興計画
施策	1 生涯スポーツの推進		
細施策	2 スポーツ大会・教室等の充実		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	初心者を対象としたスポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指し、生涯スポーツの普及を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	各種スポーツ教室を企画し、スポーツ団体に指導を依頼して実施。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		7,896	7,586	5,916	6,060	5,724	
事業費	A	6,933	7,333	2,049	5,617	5,724	5,724
	B	5,550	5,550	5,550	5,550	5,550	5,550
総コスト(C=A+B)		12,483	12,883	7,599	11,167	11,274	11,274
正規職員(1年間の従事人数)		0.75人	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人
臨時職員(1年間の従事人数)							
国県支出金	D						
その他特定財源	E						
市の財政負担(=C-D-E)		12,483	12,883	7,599	11,167	11,274	11,274

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	スポーツ教室参加者	人	483	454	446	533	スポーツ教室に参加した延べ人数ではなく、各教室の申込人数の合計。
活動	スポーツ教室実施数	件	15	14	15	15	スポーツ教室の実施件数
中心指標の考え方	本事業は、成果指標を中心に評価する。						
指標に基づく評価	スポーツ教室の参加者数、実施数とも、昨年を除いては、それほど変化していない。その時代に合った魅力のあるスポーツ教室を今後、検討していき、教室の充実を図っていきたい。						

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題 必要性に課題
人気のある教室は、抽選を行うほどだが、人気のない教室は、各学校を回って参加の依頼をして、やっとな行える状況にある。人気のある教室が質の高い良い教室とは必ずしも言えないが、どんな教室でも、人が集まらなければ、結果として評価が下がってしまう。今後は定員割れする教室について検討していきたい。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	スポーツ教室を廃止、縮小することによって、市民の健康づくり、スポーツの推進に寄与することができなくなり、第2次川越市生涯スポーツ振興計画の市民の「だれもが、いつでも、どこでも」スポーツに「親しみ、楽しみ、継続する」地域社会づくりを目指す指針に反することとなる。
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
スポーツ教室は、初心者を対象としており、スポーツを親しむきっかけになっている。生涯スポーツの推進において、スポーツ実施率を向上させるためにも重要な施策である。	